



14 October 2022

リリースノート

AtomOS Lite 10.03.01

ZATO CONNECT

重要：

本リリースで導入された新機能の詳細につきましては、FAQ をご覧いただくか、ZATO CONNECT ユーザーマニュアルの CONNECT セクションをご覧ください。

<https://atomos.zendesk.com/hc/en-us/sections/5085590576143-ZATO-CONNECT-USER-MANUAL>

ZATO CONNECT を使用していて問題が発生した場合は、support@atomos.com までご連絡ください。

インストールに関する注意事項：

ATOMOS では ZATO CONNECT を USB-C 20W 電源アダプタに接続するか、新しく充電したバッテリーに接続しファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

1. PC や ZATO CONNECT で SD カードを exFAT 形式でフォーマットします。対応する SD カードの詳細は <https://atomos.zendesk.com/hc/en-us/articles/5297654113935-Recording-Compatible-SD-Cards> からご確認いただけます。
2. AtomOS Lite の最新版を <https://www.atomos.com/product-support?product=zato-connect> から、ダウンロードします。
3. 圧縮されたファイルを解凍し、.bin ファイルを SD カードのルートディレクトリに移動します。
4. ZATO CONNECT の電源がオフになっていることを確認します。
5. ZATO CONNECT の SD カードスロットに SD カードを挿入します。
6. 完全に充電されたバッテリーまたは、USB PD 電源アダプタを ZATO CONNECT に接続します。
7. 電源を押して起動します。
8. ZATO CONNECT はいくつかのアップデート画面を経て、最初は Atomos ロゴが表示されます。
9. デバイスはアップロード中に数回再起動し、インストールが完了すると再起動します。
10. 再起動後、このリリースで導入された新機能の詳細を説明するウェルカムメッセージが表示されます。

注意：.bin ファイルは SD カードから自動的に削除されないので、インストール完了後 SD カードから削除してください。

新機能：

ピクチャー・イン・ピクチャー対応

3種類のソースから1つを選択し、番組ストリームに PiP オーバーレイを追加する機能の紹介

- Web カメラなどの USB UVC デバイス (USB-1 経由)、HDMI 入力、SD カード内の録画クリップをピクチャーインピクチャーのソースとして選択可能です。
 - SD カード再生時 USB や HDMI 入力を PiP ソースとして選択可能
 - HDMI 入力時 USB や SD カード再生を PiP ソースとして選択可能
 - USB 入力時 HDMI や SD カード再生を PiP ソースとして選択可能
- PiP ソースの位置は左上、右上、左下、右下の 4 種類から 1 つ、サイズは小、大の 2 種類から 1 つ選択。
- OverLays のタブの PoP メニューで、PiP ソース、位置、サイズを選択可能。

注：SD カードに記録されたファイルをメインまたは PiP ソースとして再生する場合、ZATO CONNECT では録画と再生が同時に行えないため、録画は無効となります。しかし、ストリーミングは可能で、ローカルにバックアップが必要な場合は、ストリーミングプラットフォームからダウンロードするようにしてください。

注：PiP 及びオーバーレプリセットは、ストリームの生産性を高めるため、同時に使用可能です。

クイックアクセス最下段メニューの強化

メインメニューに入らずに PiP 設定や Overlay プリセットの切り替えが可能

- 下部メニューバーの青いオーバーレイボタンを押すと、2 つの状態が切り替わります。
 1. Layout メニューで定義されたオーバーレイ プリセットにリンクされた 4 つのボタンが表示されます。これらは、オーバーレイを有効または無効にするために使用します。
 2. PiP サイズ、位置、PiP ソース セレクトなど、PiP を調整するのに必要なコントロールが表示されます。これらのボタンは、Overlays タブの PiP メニューの設定にリンクしています。

バグ修正と全体の改善：

- PNG オーバーレイの周りにギザギザの白いアウトラインが表示されることがなくなりました。
- USB UVC 入力の互換性を改善しました。特に RGBlink、Insta360、OBSBOT カメラでは、ZATO CONNECT がフレームの下半分に緑のオーバーレイを表示していた問題を改善しました。
- WiFi ネットワークの選択、ファイルブラウザからの PNG オーバーレイの読み込み、再生するクリップの選択は、リストアイテムをダブルタップする必要がなくなりました。一度タップして選択し、もう一度タップして選択内容を確認する形となりました。
- 秒が経過する前に録画が停止し他場合に、再生ブラウザーに再生不可能なクリップが表示される問題を解決しました。

既知の制限事項：

- H.264 のプリセット LQ、MQ、HQ で録画したファイルは、ZATO の再生モードでは滑らかに表示されない場合があります。しかし、ストリーミングや HDMI/USB 出力では、完全に滑らかに表示されます。
- フレームレートが 23.98fps の USB UVC 入力は、ZATO の画面に画像が表示されているにもかかわらず、トップメニューバーで入力なしと強調表示される場合があります。24fps、または 60fps までの対応フレームレートで出力することをお勧めします。
- 720p のソースで ZATO に接続することは、現時点ではお勧めできません。PiP 信号、メイン入力信号ともに 1080p の解像度で接続することを推奨します。